

山王地域 地区防災計画

家族の連絡先(携帯電話等)

名	連絡先(TEL)
前	

災害時の避難に関する決め事

災害時避難所	
広域避難場所	
一時避難場所	

メモ(アレルギ―(アレルギー) 薬名など)

固定電話使用の場合

伝言の録音方法

171⇒1⇒(000)000-000 伝言を入れる

ガイダンスが流れます 被災地の方は自宅の番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号

伝言の再生方法

171⇒2⇒(000)000-000 伝言を聞く

ガイダンスが流れます 被災地の方は自宅の番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号

※携帯電話の場合は、災害用伝言板をご利用ください。(使用方法については、各携帯電話会社にご確認ください)

我が家の防災セット(事前に準備)

■一次持ち出し品(避難所に行くときなど)

品目	品目	品目	品目	品目
懐中電灯	軍手・手袋	タオル	ホイッスル	
ロープ	現金・小銭	ウェットティッシュ	ライター	
水	万能はさみ	レジャーシート	毛布	
着替え(下着等)	ポリ袋	携帯ラジオ	常備薬	

女性、赤ちゃん、高齢者用品

生理用品	おむつ	粉ミルク・哺乳瓶	母子手帳
介護用品			

■二次持ち出し品(避難所・自宅避難生活)

品目	品目	品目	品目	品目
飲料水(1日3ℓ)	カップラーメン	割りばし・紙皿	乾パン	
レトルト食品	缶詰	鍋・やかん	卓上コンロ	
非常用給水袋	サランラップ	タオル・バスタオル	毛布(寝具)	
歯ブラシ・歯磨き粉	石鹸	充電器	予備電池	
雨具	カイロ	携帯用トイレ	ビニール袋	

食料品の備え方、ローリングストック法を活用しよう！

① 備える

家族分の食料を最低3日分でできれば1週間分用意。

② 食べる

賞味期限を考えながら毎月消費する。

③ 買い足す

消費したものを買い足す。

使った分を買い足すことを繰り返し、常に一定量を備蓄しておきましょう

リサイクル推進

災害発生後の行動～避難行動へ

揺れを感じたとき・・・

●あわてず落ち着いて危険な物から離れましょう。(家具やガラス戸) ☆パニックにならないで冷静に！

●身近に火元があれば消し、離れた場所であれば身の安全確保を優先しましょう。無理に火を消そうとせず、揺れがおさまるまで近づかないようにしましょう。(都市ガスは震度5以上で自動的に遮断)

●座布団やバッグなど身近にある物で頭を保護し、丈夫なテーブルなどの下へ逃げ込みましょう。

揺れがおさまれば・・・

●家族の安否を確認しましょう。

●火の始末をしましょう。(ガスの元栓を閉めます) 火災が発生し自力消火に不安があれば大声で周囲に知らせましょう。

●室内ではガラスの破片などが散乱している場合があるので、スリッパや靴を履きましょう。

●避難の準備(ドアを開けておく) 避難するときは、ブレーカーを落としましょう。

●テレビやラジオ等で正確な情報入手しましょう。(停電時はラジオや自主防災組織などから情報を入手し根拠のない情報に惑わされないようにしましょう)

避難所での生活ルール

避難所運営委員会

お互いに協力し合い、少しでも快適な生活が送れるようにしましょう。

①この避難所の運営に必要な事項を協議するため、自主防災組織・避難者、避難所担当職員等(区役所)、施設管理者等からなる避難所運営委員会を組織します。

◆委員会は、毎日午前 時と午後 時に定例会議を行うことにします。

◆委員会の運営組織として、総務班、避難所管理班、情報班、食料・物資班、衛生班を編成します。

②避難所は、電気、ガス、水道などライフラインが復旧する頃を自処に閉鎖します。

③避難者は、家族単位で登録する必要があります。

◆避難所を退所するときは、管理部に転出先を連絡してください。

◆犬、猫などのルールは別に定めます。(下記ペットルールを参照してください)

④職員室など施設管理のために必要な部屋、避難者全員のために必要な部屋又は危険な部屋は、避難スペースとしては使用できません。

◆「立入禁止」、「使用禁止」、「利用上の注意」等の指示、張り紙の内容には必ず従ってください。

◆避難所では、利用する部屋の移動を定期的に行います。

⑤食料・物資については、次の点を原則とし、具体的な配布方法等は別に示します。

◆平等な配布を原則としますが、数が不足する場合は、子ども・妊産婦・高齢者・障がい者の方を優先して配布します。

◆食料・物資は避難者の組ごとに配布します。

◆配布は避難所以外の在宅避難者等へも等しく行います。

◆ミルク・おむつなど特別な要望は、食料・物資班が 室で対処しますので申し出てください。

⑥消灯は、夜 時です。

◆廊下は点灯したままとし、体育館などの照明を落とす際には、全消灯にならないように配慮してください。

◆職員室などの管理に必要な部屋は盗難などの防止のために点灯したままとします。

状況に応じた避難行動や避難場所

一時集合場所へ避難

強い揺れの地震により建物 が倒れる可能性がある場合は公園や広い場所へ避難

広域避難場所へ避難

大規模火災等が発生した場合は、広域避難場所へ避難

災害時避難所

大きな地震により家に戻れない場合は避難所で生活をします。

公園や広い場所など

阿倍野再開発地区など

集会所や学校など

家具の転倒・落下の予防

耐震金具の利用や工夫で家具転倒を防止しよう

■置き方に工夫する

●家具の下部前方に板を入れ壁にもたれ気味に置く

●就寝場所に家具が倒れてこないように配置する

■耐震金具を利用しよう

●転倒防止器具を使って、壁や柱などに固定する

■家具が転倒すると・・・

建物が無事でも家具が転倒すると、その下敷きになってけがをしたり、室内が散乱することにより逃げ遅れてしまう場合があります。家庭での被害を防ぎ、安全な逃げ道を確保することが重要です

- ⑦放送は、夜 時で終了します。
- ⑧貴重品は自己管理でお願いします。
- ⑨飲酒・喫煙は、禁止します。なお、裸火の使用は禁止です。
- ⑩ごみは所定の場所に分別して出してください。
- ⑪携帯電話等でのテレビ・ラジオ等の視聴はイヤホンを使用し、周りの迷惑にならないように注意してください。
- ⑫公衆電話の使用は緊急用とします。
- ◆使用時間は原則として、午前 時から午後 時までとします。
- ◆放送により呼び出しを行い、伝言します。
- ◆携帯電話は所定場所以外での使用を禁止します。
- ⑬清掃、トイレ清掃は避難者が交代で行うこととします。
- ◆トイレの清掃は午前 時、午後 時に行います。順番表を確認してください。
- ◆清掃時間は、放送を行います。
- ◆清掃ルールやトイレの使用ルールを表示しますので守ってください。
- ⑭夜間は単独行動をしないようにしましょう。
- ⑮その他避難所運営において必要なことを表示しますので確認の上、従ってください。

～ペットの飼い主のみなさんへ～

避難所では、多くの人達が共同生活を送っていますので、ペットの飼い主の皆さんは、次のことを守って避難生活を送ってください。

①ペット動物は決められた場所に必ず繋ぐかケージ(飼い主のみなさんをご用意ください)の中に入れて飼ってください。

②飼育場所や施設は、飼い主の手によって常に清潔にし、必要に応じて消毒を行ってください。

③飼い主は、ペットの苦情や、危害の防止に努めてください。

④砂場は使わないなど屋外の指定された場所で必ず排便させ、後始末を行ってください。

⑤えさやりは時間を決め、その都度きれいに片付けてください。

⑥ノミやダニの駆除に努めてください。

⑦運動やブラッシングは必ず屋外で行い、抜け毛はビニール袋に詰めて処理してください。

初期消火は出火直後に！

出火の現場に居合わせたら、まず「通報」「初期消火」「避難」が大切です。優先順位は状況により異なります。

行動1 通報

大声で「火事だ～！」と叫ぼう

●大きな声で叫び非常ベルや音の出るものを叩く。

●どんなに小さな火事でも119番通報を。

行動2 初期消火

出火直後が勝負

●火がまだ横に広がっていないうちなら消火は可能。

●コップに入った水や座布団など、身近なものを最大限に活用しよう。

行動3 避難

危険を感じたらすぐ避難

●避難するときは燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断。すみやかに行動を。

危険を感じたらすぐ避難！

もっとも大切なのは、身の危険を感じたときに一刻も早く避難することです。服装や持ち物などにこだわらず、できるだけ早く避難。一度逃げ出したら、絶対に戻らないようにしましょう。

本当に恐ろしいのは煙です！

煙は一酸化炭素などの有毒ガスを含んでいるため、吸い込むと中毒などにより命を落とす危険性があります。

①濡らしたタオルなどで口と鼻をおおう。

②できるだけ姿勢を低くする。

③階段でははったまま後ろ向きに下りる。

④視界が悪いときは壁づたいに避難する

金塚小学校避難所の配置図

